



沖縄大学こども文化学会設立総会・講演会（2016年8月7日 同窓会館）

Contents

- 02 沖縄大学こども文化学会設立総会・講演会
- 05 卒業生インタビュー（古謝光）/リレーエッセイ（仲里笑里）
- 08 研究のひろば（春田吉備彦）/わがゼミナール（石原端子）
- 09 あのは人は今（山門健一）
- 10 2016年度入学式
- 13 2016年度冠奨学金証書授与式

学長コラム ⑥

角栄と沖縄大学

仲地 博

今静かな角栄ブームだという。若い学生諸君は、田中角栄氏をほとんど知らない。今でいえば中学卒の学歴であるが、39歳で国務大臣、54歳で総理大臣になった。戦国時代の秀吉になぞらえ「今太閤」と言われた。頭の回転がはやい上に馬力があるので、「コンピュータ付きブルドーザー」とも呼ばれた。金権政治で批判を受け退陣したが、その後も政界に隠然とした勢力を保持し、「闇将軍」という異名もついた。

日中国交回復を成し遂げた政治家であるが、戦後最大の汚職事件と言われたロッキード事件で有罪判決を受け、面倒を見た子分から背かれ、失意のうちに死亡した。

ところで、詳しい話は省くが、沖縄大学は、復帰の際に廃校の危機にあった。そのとき、田中氏が沖縄大学のために働いてくれたことはあまり知られていない。佐木隆三の『越山田中角栄』によれば、陳情を受けた田中氏は、沖大の二部で多くの学生が学んでいることを知り、「わかった、わかった、それでは苦学している者が可哀そではないか、なんとかしなければならない」と善処を約束したという。

この話がほんとかどうか、裏を取れないかと思つたら、創立50周年に際しての回顧談で当時学長であった佐久川政一先生が、田中氏の親友の中西正光氏に要請したという証言を見つけた（『目で見る沖縄大学50年の歩み』）。これを手掛かりに古い教授会議事録のページをめくつてみたら、田中総理が文部大臣に「沖縄に大学がいくつあってもいいのではないか」と言つたという手書きの記録が残っていた。田中氏が沖縄大学のことをどの程度理解したかは不明だが、教授会議事録を見ると、多くの人々が沖縄大学のためにひと肌脱いでくれたことがわかる。屋良知事を始め多くの政治家や文化人が沖縄大学を支援した。県民もデモや署名運動をしてくれた。

沖縄大学は、沖大の価値を認め愛してくれた、これらの人たちの気持ちに応えなければならない。それが、「地域と共に生きる」という沖縄大学の使命だろう。



こども文化学科創設10周年記念 沖縄大学こども文化学会 設立総会・講演会



喜屋武政勝 会長

2007年度に開設されたこども文化学科が創設10周年を迎えたことを記念して、「沖縄大学こども文化学会」が設立されました。

8月7日（日）の設立総会では、喜屋武政勝会長（学科長）が「こどもに関する文化と教育についての学術及び活動の振興を図ること」を目的に、①研究発表会・講演会の開催②教育現場の実践報告会の開催③研究に関する刊行物の発行④こどもに関わる活動の振興等を行つていきたいとした会則を紹介。

学科設立の中心を担つた川井勇教授による基調報告は、学科の成り立ちから始まりました。中等教職課程で学ぶ学生のがんばりや卒業生たちが実習生を応援する「同夢会」の活動などが広がり、そうした先輩後輩が一緒になつて教職を目指す機運と新学科の検討が重なつていつたこと、人文学部に設置するため国際

コミュニケーション学科や福祉文化学科にブリッヂをかける意味でこどもたちの「文化」を強調し、やわらかなまなざしで「子ども」「教育」を考え行きたいと学科名に「こども」をひらがなで表したこと等、学科を設立した当時の思いを振り返りました。そしてこの10年間、学科を担つてきた一人ひとりの教員の名前が紹介されました。

こども文化学会については同窓会であり、自主的、自発的な研修の場、学びの場にあたるのではないか」として、学科10年の節目として原点に立ち返り、これからのことを考えるきっかけにしたいと、学会へ寄せる思いを語りました。

続いて、在学生のゼミ活動報告と、先輩後輩の実践報告の部。盛口ゼミの伊計利沙さんは、「離島のこどもたちへの教育実践」をテーマにゼミ活動報告。石垣島白保で行われる夏の子どもキャンプに5年前からゼミ生が通い、自然体験や環境学習のサポート役を学びながら、こどもたちへ模擬授業をさせてもらつてているプログラムを紹介し、白保の人々や子どもたちと接する中で感じた島の良さを模擬授業で伝えることができたことや、今年についてのキヤンプの準備状況についての

基調報告 「こども文化学科の10年と学会設立について」川井勇（こども文化学科教授）

ゼミ活動報告 ①「離島のこどもたちへの教育実践（盛口ゼミ）」伊計利沙（4年）
②「行事づくり、授業づくりを核として（川井ゼミ）」高宮城杏奈（4年）

実践報告 ①「尚円の里600周年のあゆみを振り返る」名嘉帆希（4年）
②「4年2組特活『みんなで思い出をつくろう』の取組から」具志堅陽（5期生 天久小教諭）
③「特別支援学級担任の困り感について」島袋大地（2期生 中の町小教諭）

記念講演 「『学校で学ぶ』ということ」星野人史氏（珊瑚舎スコレ代表）と夜間中学校卒業生

報告してくれました。

川井ゼミの高宮城杏奈さんはゼミ活動報告を、「行事づくり」のテーマで、①「同じ釜の飯を食べる会」などの2、3、4年次合同行事②1年生が授業をする模

さを実感したと語ってくれました。名嘉帆希さんは、「尚円の里60周年のあゆみを振り返る」と題して、自身の生まれ育った伊是名島の「尚円王祭り」に1年次の時から毎年こども文化学科の友人らを案内してきたこと、昨年の祭りでは友人30名で企画した尚円王と島の歴史を伝える授業を行つたこと、そうした体験を通して自分たちも沖縄のこと・地元のことを常に学び続けてくれました。

学校ごっこ」の企画・運営(2年ゼミ)③沖大祭期間限定の2、3年生が授業をする模擬学校「沖縄大学附属小中学校」の企画・運営(3年ゼミ)④石垣市の私立海星小学校で行う学生による「体験授業」⑤総合学習でユニークな実践を続いている長野県の市立伊那小学校の公開学習指導研究会を視察する「4年次ゼミ旅行」について紹介。

昨年から天久小学校に勤務する卒業生の具志堅陽さんからは、集団活動を通して自主的実践的な態度を育てるなどが求められるという「特別活動」についての事例発表。

学級全員で思い出をつくろうという試みをこどもたちが生み出すことができるという風に思いました。発表を聞いた参加者から、経験や経験でできるということではないですね、とため息交じりのコメントが聞こえてきました。

川井 星野人史さんは、2001年に那覇市に私塾として珊瑚舎スコレを立ち上げた。2003年からはNPO法人が運営している。現在、初等部、中等部、高等部があるが、沖縄戦や戦後の混乱・貧しさのため、義務教育を受けられなかつた人の学びの場として、珊瑚舎スクール夜間中学校を2004年に開設した。

皆さんにお話を伺うのは、こういう風に考えたからだ。基調報告で「10年目の節目に学会を立ち上げ、原点に返る」と捉えたい」と話したが、夜間中学の生徒さんは、「学校で学ぶ」ということが楽しくしてしまった。(以下、要旨録)

「学校で学ぶ」ということ

星野 人史 氏 (NPO法人珊瑚舎スコーレ代表)

学校は制度です。制度は人間のためにあるんですね。制度のために僕たちはいない。そこがはつきりしていない人が多いです。

若い方々に言いたい。制度を人間の側に引っ張つてくる力を持たなくちゃダメです。制度を常に、こどもたちの側に引っ張るうという思いがないと、だめ。そのためには何をするか。勉強してください。今ある制度をもつと人間の側に引っ張つてくるにはどうですか。勉強足りません。

こども文化学科の卒業生や学生と結構お付き合いしてるんですね、僕。勉強足りません。そこで文化学科をもっと人間のやりたい授業はどういう場をつくればできるのか。そのための勉強というのはね、教員採用試験に受かるための勉強なんかじや全然足りません。大学の単位を取るために勉強でも見つけて、自分で向かい合うものをつくってください。そういうことがとても大事です。10年前、前の学長の加藤さんとお会いした時に、「こども文化学科という名にするよ」

と加藤さんは言つたんです。「教育は文化の中で成り立つんだ。だから文化学科を創ると。すごい理想があるわけです。じゃあ、沖大のこども文化学科が創る文化ってどういう文化なんだろう。そういう根本を皆さん学ばないと。どんな場を創つていくのかということがあります。教員は創つてくれません。学生が創るんです。教員は一緒に動くことはできる。でも、学生がこういうところに集まつてどうしようかってそういうふうにしないと、そういう場はできないんだ。沖大には「こども文化」という名前が付いた学科がある。その思いを自分たちで捉え直してほしい。

文化の中身は何かっていうと、知力です。それから感性です。知と美を自分のものにできるような学びを、まず教員になろうという人間がやらないと。知力と感受性。美しさ、正しさ、誠実さ、そういうことをどんどん深める知性。そういう勉強をしたいと思つているはずで、そういう時間が4年間あるわけです。

夜間中学校の方々は、戦争

学校は制度です。制度は人間のためにあるんですね。制度のために僕たちはいない。そこがはつきりしていない人が多いです。

若い方々に言いたい。制度を人間の側に引っ張つてくる力を持たなくちゃダメです。制度を常に、こどもたちの側に引っ張るうという思いがないと、だめ。そのためには何をするか。勉強してください。今ある制度をもつと人間の側に引っ張つてくるにはどうですか。勉強足りません。

こども文化学科をもっと人間のやりたい授業はどういう場をつくればできるのか。そのための勉強というのはね、教員採用試験に受かるための勉強なんかじや全然足りません。大学の単位を取るために勉強でも見つけて、自分で向かい合うものをつくってください。その結果、僕たちの胸にはぶら下がつているんです。そうじゃない場所になろうとする動きがあるんだよ、僕たちの中には。

沖縄大学は学校法人ですから、珊瑚舎はそういうことをしたいと子ども文化学科は、そういう遊びの集団になつてほしい。珊瑚舎から文化が生まれるつどいいうことなのかということが大事なんだ。一人ひとりの生徒を大事にしていく場つて、どういう場なんだ。言葉で言うのは簡単です。具体的に、それはどういうことなんだつてほしい。

文化の中身は何かっていうと、知力です。それから感性です。知と美を自分のものにできるような学びを、まず教員になろうという人間がやらないと。知力と感受性。美しさ、正しさ、誠実さ、そういうことをどんどん深める知性。そういう勉強をしたいと思つているはずで、そういう時間が4年間あるわけです。

珊瑚舎は、そういうことをやつて、それがやつとできるようになつたと言つたわけです。じゃあ、沖大のこども文化学科が創つてくれるんです。教員は創つてくれません。学生が創るんです。教員は一緒に動くことはできる。でも、学生がこういうところに集まつてどうしようかってそういうふうにしないと、そういう場はできないんだ。沖大には「こども文化」という名前が付いた学科がある。その思いを自分たちで捉え直してほしい。

学校で勉強するつて、どういふことなんだろう。それがやつとできるようになつたと言つたわけです。じゃあ、沖大のこども文化学科が創つてくれるんです。教員は創つてくれません。学生が創るんです。教員は一緒に動くことはできる。でも、学生がこういうところに集まつてどうしようかってそういうふうにしないと、そういう場はできないんだ。沖大には「こども文化」という名前が付いた学科がある。その思いを自分たちで捉え直してほしい。

もう、いろんなことをやつて、いろいろな体験をしている生徒がいます。そういう人たちが学びに来るんです。なんですか。もう、いろんなことをやつてきた。一生懸命やつてきた。たつた一つだけ忘れ物があると言つたんだよ。学校で勉強することだけ忘れ物していく、それがやつとできるようになつたと言つたわけです。じゃあ、沖大のこども文化学科が創つてくれるんです。教員は創つてくれません。学生が創るんです。教員は一緒に動くことはできる。でも、学生がこういうところに集まつてどうしようかってそういうふうにしないと、そういう場はできないんだ。沖大には「こども文化」という名前が付いた学科がある。その思いを自分たちで捉え直してほしい。

珊瑚舎は、そういうことをやつて、どういふことなんだろう。それがやつとできるようになつたと言つたわけです。じゃあ、沖大のこども文化学科が創つてくれるんです。教員は創つてくれません。学生が創るんです。教員は一緒に動くことはできる。でも、学生がこういうところに集まつてどうしようかってそういうふうにしないと、そういう場はできないんだ。沖大には「こども文化」という名前が付いた学科がある。その思いを自分たちで捉え直してほしい。



珊瑚舎は、そういうことをやつて、どういふことなんだろう。それがやつとできるようになつたと言つたわけです。じゃあ、沖大のこども文化学科が創つてくれるんです。教員は創つてくれません。学生が創るんです。教員は一緒に動くことはできる。でも、学生がこういうところに集まつてどうしようかってそういうふうにしないと、そういう場はできないんだ。沖大には「こども文化」という名前が付いた学科がある。その思いを自分たちで捉え直してほしい。

珊瑚舎は、そういうことをやつて、どういふことなんだろう。それがやつとできるようになつたと言つたわけです。じゃあ、沖大のこども文化学科が創つてくれるんです。教員は創つてくれません。学生が創るんです。教員は一緒に動くことはできる。でも、学生がこういうところに集まつてどうしようかってそういうふうにしないと、そういう場はできないんだ。沖大には「こども文化」という名前が付いた学科がある。その思いを自分たちで捉え直してほしい。

卒業生インタビュー

地球を一周し、痛く感じたこと

古謝 光さん 国際コミュニケーション学科 2016年3月卒業生（西原高校卒）

「3月31日までピースボートに乗っていて、卒業式に出席できなかった」という、オーストラリアへ留学に発つ直前の古謝光さんに話を聞きました。

※ピースボート：国際交流を目的に地球一周の旅をするNGOの船。南北問題の関心が高まった80年代に学生が始めた。



高2の時、赤点取らなきやいいくらいに思つてた英語だつたけど、コツつかんで勉強したら、毎回90点以上取れるようになつてしまつて。英語に目覚めて沖大に入学したけど、1、2年の時は単位を取る感じで通つてた。

どの大学に行っても自分次第と思うようになつて、他の大学に行つた友人の話を聞いても、結局自分でやるしかないかなと。そういう考えになつてからは勉強しようと思つた。3年になつて、しゃべれる英語をメインに勉強できるようになつて、あ、俺、これ勉強したかったんだつて。こういう授業を受けたかつたんだよ、みたいな。

点以上取れるようになつてしまつて。英語に目覚めて沖大に入学したけど、1、2年の時は単位を取る感じで通つた。

どの大学に行つても自分次第と思うようになつて、他の大学に行つた友人の話を聞いても、結局自分でやるしかないかなと。そういう考えになつてからは勉強しようと思つた。3年になつて、しゃべる英語をメインに勉強できるようになつて、あ、俺、これ勉強したかったんだつて。こういう授業を受けたかつたんだよ、みたいな。

—そういう先生がいたんだ…。

3年になつて、英語の勉強が進むと、ちよつと試したいなつて思うようになつた。俺の勉強していくる英語つて、海外でどれくらい通じるんだろうつて。

ちようどそのころ、「ブラジルに行つてみてえな」つて思つてたたまたま大学の掲示板で、ピース

みながらしたこともあつたし、自分は釣りが好きなんで、海で英語で釣り教えたりみたいな。で、一緒に料理したり。まあ、そういうことで楽しく英語を勉強して、先生にも楽しんでもらえた。

ミツシエル先生とはメールするし、家にも行くし、ゼミ会でカラオケにも行くし。先生と会話の練習みたいな感じで、なにで勉強するかということで、「いいよいよ暇だから」って、授業の後にしやべったり、マックでコーヒー飲みながらしたことしあつたし、自分が釣りが好きなんで、海で英語で釣り教えたりみたいな。で、一緒に料理したり。まあ、そういうことで楽しく英語を勉強して、先生にも楽しんでもらえた。

もできるだらうて、いう気持ちで、ミッセル先生に頼んで、「日本人人が少なくて、暖かくて、海が近い所」という条件で卒業後の留学先を探してもらつた。

「これは、という体験は？」
周つたのが、南アフリカとか貧乏な国ばかりで。
マダガスカルに行つたとき、こどもがいるからお金ちようだいとか、そういう人たちもいっぱいいて、本当に仕事がない。そこのN G O がつくった学校にも行つたけど、親が亡くなつたとか、親が育てきれないで預けられたといふこどもたちがいっぱいいた。みんな笑顔でやつているけど、先生たちに話を聞いたら、この先この子たちがどうなるか、未来はないみたいだ。実際にこどもたちやま

船で南半球19か国行つて勉強したし、いろいろ経験した。12月20日から3月31日まで、乗船したのは船員含めて800人くらい。日本人はその半分くらい。沖縄在住の人は30人くらい。でも純血のウチナンチュは十数名。沖大生も一人いた。

「俺は英語の挑戦と思つて来ていいから、マダガスカルでもいろいろなふうに話しかけてみて、通じなかつたら他の人に『あの人なんと言つてるのか?』みたいにしていたんだけど、友達とちょっと海でも行こうやと歩いていたとき、こどもを抱えた母親が『モニー、王二一』「チエンジして」みたいに

あの人たちは、飲める水と食べられるものがなければ死ぬから。そういう中で生活している人と自分を対比して、沖縄で生活してて、あんな苦労をしたことねえやと思つてさ。

ちの様子を見たら、ほんと、これは問題だなって。写真で見るだけでは分からぬことを見た。道路のぼこぼこ加減とか、ちつちやい子たちがものを売つてゐるのとか。それ見て、やっぱりこれつてどうなの?つて。これつて、大学で「世界的な問題をどうしますか」つて考えていたことと、何が違うかっていうと、目の前にあるから、現実が。今日食べられないじゃなくて、昨日も食

言つて来た。「どうしてほしいの」つて聞いても相手は英語が話せない。近寄ってきた警備員みたいな人に「この人、俺なんて言つてるの?」つて聞いたら、「関わらないほうがない」と。「子どもを売つたりして」とか言われて、「うえ」みたいな。俺の感覚では、子どもを売るという感覚はなかつたから。子どもを食べさせるためにお金ちようだいという感覚ならわかるけど。だから、根本的に考えが違うというか、手の届く距離にいる人の現実が違いすぎて。

――楽しかったのは?

楽しかったのはブラジル。リオのカーニバル。5日間で睡眠時間は、一番少ない日で10分。一番長く眠つたのは2時間半。国際通りの30~40倍くらい広い通りに世界中から人が集まつて、朝から祭りが始まつて、これは楽しむしかないと。あつちの人たちはがつたりコスプレしてたから、俺もそれに近い服を買って、着て、一緒に飲んで、歩いて、というのを朝から晩まで5日間繰り返した。途中で記憶がごちゃごちゃになつてきたりとか。(笑)

――船ではどのように?

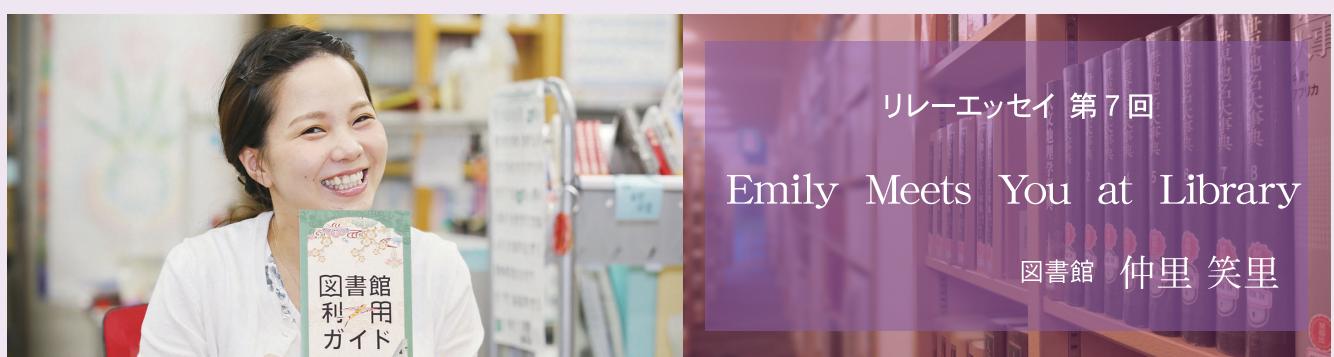
いろんな人の話を聞いて、ああこういう生き方もあるんだと思つた。しかも、南半球回りのピースボーキ

トには変な人たちが集まると言われているらしくて、本当に変なヤツばかり。シニアさんの経験とかもすごくて、それで、単純に俺、学が足りねえなど。今までの英語もそうだけど、俺の場合はしゃべるということをメインにしていたけど、大学生の間だつたらもつともできたな、みたいな。しゃべる以外にも、もうちょっと身につけておいたほうが良かったなと、後悔もある。英語だけじゃなくて、大学つて結構融通が利くから、もつと法律のこととか勉強してみるものありじゃなかつたのかなとか。全く違うことを全然しなかつたなと思って、そこがもつたなかつた。自分の考えていた世界つて、狭かつたな。

――この先、何を?

まず、留学。学が足りないので、それから、沖縄に帰つてくるなら、人に働かされるんじやなくて、自然が人のために何かできるような仕事がしたいっていう理想がある。観光、環境に興味があるので、自然とかを守るような仕事をしたい。仕事でお金になるということは、誰かの役に立つてお金になるということだから、誰の役に立つかについてターゲットをこれからオーストラリアで勉強して明確にしていきたい。

(4月18日 聞き手 経営企画室 後藤)



こんにちは！図書館の仲里です。いつもカウンター奥のパソコンに隠れてしまっていますが、本を購入し、みんなが手にするまでの間のお仕事をメインとしています。私は2009年から沖縄大学に2年間籍を、その後2年間は琉球大学に在籍していました。2つの大学で違う環境のなか学ぶことができたことはとても貴重な経験だと思っています。卒業後の2013年には沖縄大学に就職しました（出戻りですね！ 笑）。

就職するまでは、図書館とは「本を借りるところ」というイメージしかなく、まさか自分が働くようになるとは夢にも思つていませんでした。そのため、図書館員が持つべき司書資格も持つていませんでしたが、働きながら他大学の通信教育を受け、図書資格も取得しました。社会に出でからも学ぶことはたくさんあることを知りました。

私が学生の頃と職員になつてからでは図書館は様々な変化を遂げました。多様な学びの場として、学生さんたちが学ぶための図書館環境を整えていました。その一環として、図書館スタッフは日々、様々なアイディアを出し合い、配架の工夫をしたり、

色々な展示や飾りつけを行つたところ、学生さんからも「図書館の雰囲気が明るくなつて入りやすくなつた」というお声も頂きました。とてもうれしく思います。勉強だけではなく、息抜きの場としてもどんどん図書館を利用していただけたらと思います。

皆さんはどういう時に図書館を利用していますか？ 本を読むため、授業で必要な資料を探すため、自習をするため、涼しむためなど様々の方がいらっしゃると思います。図書館報や展示コーナーでは様々な本を紹介しています。お気に入りの本に出会えるきっかけになつたらいいなと思いながらコーナーを作っていますので、図書館にお越しの際はちらつと展示コーナーにも目を向けていただけたらと思います。新しい本との出会いがあるかもしれません。

沖大の図書館は、だれにでも開かれたバリアフリーな環境作りを行つています。皆さんにとつてよりよい図書館になるよう、スタッフ一同努めさせていただきます！ ぜひ、足を運んでください♪

次回は、マルチメディア教育研究センターのいつもおしゃれでスマートな棚原大介さんです。



「Going Get over Generation」=「世代を越えて」今年度の新入生歓迎スポーツ大会はこのテーマのもと開催されました。学生・教員・職員が一致団結し、テーマに沿った世代を越えての交流が実践できたと思っています。

ど機会と場所がない「けれど
胸の奥には熱い志を持つた魅
力的な学生がたくさんいると
思います。そんな沖大生の可
能性を十二分に引き出せるよ
うな場所を提供したい! そう
いう思いから、新入生歓迎ス
ポーツ大会実行委員に挑戦す
ることを決意しました。

今回、私は実行委員長とい
う役職を務めさせていただい
たのですが、最初は他の学科
のスタッフとコミュニケーション

大会実行委員長 照屋 一輝
法経学科2年（泊高校卒）

新入生歓迎ス。ボーッ大会を振り返って

大会を振り返って、私は沖
大学のことが今まで以上に大
好きになりました。こんなに大
も先生が、職員が、先輩が、
仲間が学生一人一人を大切に
してくれる大学は他にはない
と思います。今回の経験を期に
人を動かすことの難しさ、イ
ベントを企画・運営すること
の難しさ、その他にも本当に
たくさんのこと学ぶことが
出来ました。こうした貴重な
経験が出来たのも、大会を無
事に終えることが出来たのも
支えてくれた仲間の存在や、
影でサポートしてくれた教職
員の皆さんのが助けてあつたか
らです。この場を借りて御礼
を申し上げたいと思います。
本当にありがとうございました。

ションが上手く取れなかつたり、企画の仕方がわからなかつたりと、たくさん壁に突き当りました。その度に周りの仲間や教職員の方々に支えられ、一つ一つ乗り越えていくことが出来ました。最後には実行委員全員が学科を越え、沖大生として、沖縄大学を盛り上げようというビジョンに向かつて一致団結していまし
た。だからこそ、今回の大会では実行委員が一番に「Going Get over Generation」を実践し、体現し、無事に終えることが出来たのだと思います。
最後に新入生歓迎スポーツ

九州大学春季バレー ボール女子リーグ
沖縄大会の運営を終えて

女子バレー部 主将 手登根 真琴

福祉文化学科4年（伊良部高校卒）
主将 三登木眞琴

6月25日～29日の4日間、沖縄で女子の九州大会が行われ、私は沖縄大学の女子バレーボール部（主将）として大会に参加すると同時に、沖縄県学連委員

資金の問題もありました。初めて大きな大会で責任者にもなりたくさんのトラブルや困難があり、準備は大会前日の深夜までかかりました。

競技委員会の仕事は主に、大会実戦連の書類作成・申込受付・コートの設営・備品の準備・管理等。他にも多くの仕事があります。沖縄での大会は4年に1度しか行われないため、「九州から来た人たちに満喫してもらいたい」という思いで、3月の早い段階から取り組みました。ですが、今大会は熊本震災の影響もあり参加チーム数が少なかつたり、

症にかかり救急車で運ばれる人もいました。そのたびに九州学連の人たちと話し合い、運営進行の変更を急遽行い、皆の協力で少しずつ解決していくことができました。事が大きくて一人で抱え込み耐えられなくなり現実から逃避したいと思ったこともありますでしたが、任されていました。という責任感を強く感じ、最後まで諦めずやり遂げることができました。

A young woman with dark hair and bangs is smiling at the camera. She is wearing a black t-shirt with the word "Phoenix" partially visible. She is holding a volleyball in her right hand. The volleyball has red, white, and green panels and features the Japanese characters "沖縄大学" (Okinawa University) printed on it. In the background, a volleyball net is visible against a light-colored wall.

大会を終えて感じたことはこうした準備・運営をしてくれる人たちがいるから好きなバレーボールが続けられること常に感謝する気持ちが大切だと思いました。このような経験をしたことはこれから将来にも繋がると思います。面倒くさいと思い他人に任せると、何度もチヤレンジして「達成感」というご褒美をもらい続けていきました。

最近は、在日米軍基地従業員（以下、基地従業員）の法的地位について興味がある。米軍基地は高失業率に悩む沖縄に県庁を上回る9千名の大規模な雇用をもたらすが、基地従業員は国家公務員ではない。その法的地位は日米地位協定12条に基づき、国の雇用と在日米軍の使用と従業員は派遣法類似の三者間労働関係のもと、労働契約の基本原則である直接雇用原則から逸脱した雇用形態となつていて、労働法規や社会保険が不完全になることが多い。加えて、基地従業員においては、①三六協定未締結の残業、②就業規則の作成・届出がなされていない、③労働基準監督官の立ち入り制限、④18年間、有期雇用で働いている労働者を無期契約に転換しない、⑤労働安全衛生法19条違反状態の継続、⑥解雇権濫用法理にかかる労働契約法16条の規制を潜脱しかねない運用実態、⑦年休付与につき労基法から逸脱した運用、といった多数の労働法

下、基地従業員）の法的地位について興味がある。米軍基地は高失業率に悩む沖縄に県庁を上回る9千名の大規模な雇用をもたらすが、基地従業員は国家公務員ではない。その法的地位は日米地位協定12条に基づき、国の雇用と在日米軍の使用と従業員は派遣法類似の三者間労働関係のもと、労

働契約の基本原則である直接雇用原則から逸脱した雇用形態となつていて、労働法規や社会保険が不完全になることが多い。加えて、基地従業員においては、①三六協定未締結の残業、②就業規則の作成・届出がなされていない、③労働基準監督官の立ち入り制限、④18年間、有期雇用で働いている労働者を無期契約に転換しない、⑤労働安全衛生法19条違反状態の継続、⑥解雇権濫用法理にかかる労働契約法16条の規制を潜脱しかねない運用実態、⑦年休付与につき労基法から逸脱した運用、といった多数の労働法

研究のひろば

在日米軍基地従業員の法的地位

法経学科教授(労働関係法)

春田 吉備彦



憲法が何も語らないから、刑法・民法・労働法等の国内法よりも、米地位協定が優先され、結果的に、米軍関係者の刑事事件だけでなく、基地従業員への労働法的規制の機能不全の問題等の沖縄における重層的な矛盾が惹起されている。

憲法が何も語らないから、刑法・民法・労働法等の国内法よりも、米地位協定が優先され、結果的に、米軍関係者の刑事事件だけでなく、基地従業員への労働法的規制の機能不全の問題等の沖縄における重層的な矛盾が惹起されている。

的空白地帯がある。
上位法は下位法に優先するという法原則から、憲法→日米安保条約→日米地位協定→日米合同委員会→合意文書(密約)→法律という関係において、憲法が機能しない限り、一連の下位法は適用されず、労働法的規制は及ばない。最高裁は、米軍の立川基地の拡張計画をめぐつてデモをした市民7名が逮捕された砂川事件で、①憲法9条が禁止する戦力とは、日本が指揮・管理できる戦力であり、外国の軍隊は戦力にあたらず、アメリカ軍の駐留は憲法及び前文の趣旨に反しない、②日米安保条約のように高度に政治性をもつ条約については、一看して極めて明白に違憲無効と認められない限り、違憲かどうかの法的判断を下すことはできないとして、日米安保条約に関しては憲法判決をしない姿勢を示す。

わがゼミナール

“Hold your head high as an athlete and make a difference with sport”

福祉文化学科講師(体育心理学)

石原 端子

2016年度は、4年生4名に新しく加わった3年生7名の計11名の挑戦者たちが石原ゼミで活動をしている。あえて“挑戦者”と表現したのには理由がある。2年間のゼミ活動の締めくくりとして、活動の成果を卒業研究にする、という条件があることをわかつて入ったてきたメンバーだからだ。「地獄を見るからやめといたほうがいいよ、覚悟ある?」という私の脅し文句にもめげなかつた変わり者の学生達である。そんなゼミの合言葉は、「スポーツ人として誇りを持つどう、そしてスポーツによって世界を変えよう “Hold your head high as an athlete. Make a difference with sport”」である。

3年生は、スポーツ心理学のかでも心理的スキルトレーニングやコーチングに興味があるようで、コートの立場として実践できるよう背景となる理論を学び、自身の身体を通してその効果を試し始めたところである。研究以外には、ゴルフにスナッギングゴルフにKubbなど、これまでやつたことのないスポーツにチャレンジしている。夏には、どうやら1泊2日のゼミキャンプを企画している。まだ、インターネットシップ先も、プロ野球球団とか、長年お世話になってきたバイト先の本社とか、やりたいこと行きたい所を自分の足で発掘してきている。そのまま、どんどんいけいけ!

一方4年生は、就職活動に研究のデータ収集に、授業にと、とても苦しい時期を過ごしていく。最終面接まで進んだものの、桜咲かずで凹み、小学生を研究対象に選んだもの

れさらに凹んでいる。きっととてもない孤独感を感じていることだろう。このゼミを選んだことを初めて後悔しているに違いない。でも、そんな辛いときにこそ想像してほしい、踏ん張っている自分を、踏ん張りぬけた自分を。3年生にみせてほしい、最後はゴルフにスナッギングゴルフにKubbなど、これまでやつたことのないスポーツにチャレンジしている。夏には、どうやら1泊2日のゼミキャンプを企画している。まだ、インターネットシップ先も、プロ野球球団とか、長年お世話になってきたバイト先の本社とか、やりたいこと行きたい所を自分の足で発掘してきている。そのまま、どんどんいけいけ! と、ここまで書き進めてやつぱり最後にたどり着いたのは、このゼミ生達のおかげで私も勉強させてもらえてるんだなってこと。みんなありがとうございます。私も一緒に成長します。





沖縄大学にて 2016年8月

日本復帰当時の沖縄は、C T S（原油基地）誘致による経済開発をめぐって騒然としていた。このCTS問題だった。

沖縄に来てわりと早いうち

に、時間を見つけては山原、石垣、竹富島、西表島などへと足を伸ばした。川平湾のホテル建設問題では地元の人たちと民宿中心の観光開発について、竹富島の人々とは町並み保存について話し合った。

企業誘致による経済開発ではなく、地域の人々が中心になつてとりくむ地域づくりの可能性を探そうと思った。

いろんな人と知り合つて、75年には石垣市と名護市の人たちと一緒に台湾へ農業視察に行つたこともあった。

9月10日（土）の土曜教養講座「沖縄在来のナガコショウは宝物」の準備をしている山門健一先生。8月に学内でお見かけした機会に、話を伺いました。

日本復帰当時の沖縄は、C T S（原油基地）誘致による経済開発をめぐって騒然としていた。このCTS問題だった。

沖縄に来てわりと早いうち

に、時間を見つけては山原、石垣、竹富島、西表島などへと足を伸ばした。川平湾のホテル建設問題では地元の人たちと民宿中心の観光開発について、竹富島の人々とは町並み保存について話し合つた。

企業誘致による経済開発ではなく、地域の人々が中心になつてとりくむ地域づくりの可能性を探そうと思った。

いろんな人と知り合つて、75年には石垣市と名護市の人たちと一緒に台湾へ農業視察に行つたこともあった。

その流れで、八重山のナガコショウ（ピィバーズ）との付き合いも40年になるなあ。88年には中国の広州市や福建省などを調査して、熱帯系の香りを生活の中に取り入れて樂しみでいることに興味を持つたね。沖縄には本土と比べて熱帯系の香りの植物が多いこと、熱帯アジア諸国が豊かな香りの文化、それが沖縄にも伝わっていることに注目して、それで熱帯系の香りの植物を活用した「香りのまちづくり」を提唱した。香りの植物を植えるだけではなくて、熱帯アジアのスパイスやハーブを活用し、食文化を豊にしていくことも「香りのまちづくり」の魅力的な課題だろう。

退職してからは時間ができ

り、ローマではナガコショウの評価は高かった。ところがその後、黒コショウの人気が高まり、さらにコロンブスが持ち

あの人は今！ 山門 健一 名誉教授

（1972年～2011年在職）

—ナガコショウで地域共創を探求—



最近、ロングペパー復活の動きが出てきて、例えばイギリスのナイジェル・スレーターというフードライターは、「ロングペパーは、あらゆるスペイスのなかで最もすばらしいスペイスだ」と主張している。NHK番組が紹介した最新の医学研究の成果では、ナガコショウは毛細血管を若返らせる効能があり、アンチエイジングの切り札になると言った。日本では沖縄にしかないものだが、誰がいつどこから琉球にもたらしたのか、これがわからないんだな。これを開いたりしているんだけど、テレビの影響もあつたのか、人が来るんだよ。埠や立ち木を活用した栽培が広がってきていて、浦添城址に向かう通りにある仲間自治会のナガコショウは立派。本部町の環境浄化センターでは、植えて3年目くらいになるかな、140メートルの壁に這わせている。

ナガコショウの栽培、収穫は軽労働だし、高齢者もできる。自分でスペイス作りもできるが、豊見城にある加工所はキロ

千二百円で買い取ってくれる。他の作物とも組み合わせながら、1年を通して体を動かし、一定の現金収入が得られるといいんじやないか。徳島県上勝町の葉っぱビジネス的なものを展開できるかもしれない。

来月、土曜教養講座でナガコショウの話をするよ。



ジャワナガコショウ

第540回 沖縄大学土曜教養講座

沖縄在来のナガコショウは宝物

講師：山門 健一氏（沖縄大学 名誉教授）

日時：9月10日（土）午後2時～

会場：沖縄大学 本館同窓会館

2016年度

沖縄大学入学式

4月2日(土)、那覇市民会館で入学式が行われました。法経学部188名、人文学部296名、大学院現代沖縄研究科7名、計491名が入学し、父母や教員らが見守る中、新入生は真新しいスーツに身を包み、式に出席しました。

学長式辞(抄録)

沖縄大学学長 仲地 博

[沖縄大学の歴史]

沖縄大学は、今年6月で創立58年を迎える沖縄で一番歴史の古い私立大学です。

10ありますが、沖縄大学は琉球大学に次ぐ歴史を持ちます。沖縄大学が創設されたころは、沖縄がまだB円を使っている時代で、沖縄大学開学の年にアメリカのドルに切り替えられます。「本土」渡航もままならない時代で、向学の志に燃える多くの青年たちが、沖縄大学の門を叩きました。

沖縄大学は、嘉数昇先生によって創設されました。当時の沖縄の高等教育機関は、定員わずか500名の琉球大学だけでした。今沖縄には、科技大学院大学や工業高等専門学校も含めて、大学、短大が

前の沖縄の大学は、琉球政府の学校教育法によつて認可された大学でした。ところが復帰の際、沖縄の大学は日本の大学設置基準に達しないことが問題になつたのです。琉球大学は国立大学に移管し整備することになりました。コザ市にあつた国際大学と那覇市にある沖縄大学は統合させ新しい大学を作り整備するというのが政府の方針になりました。ところが沖縄大学は、政府の方針に反し自主独立の道を選んだのです。大学の存続を主張する18名の教員は、地元新聞に、「他律的統合に反対し、沖縄大学を守る」と声明を発表しています。

その結果、他の大学が、日本との学校教育法による大学とされる中で、沖縄大学だけは、1年生が卒業する4年間は大学とみなすが、あらたな学生募集をしてはならない、とされたのです。国によつて記録した『小さな大学の大いに挑戦』という書籍がありま

沖縄大学の50年の歴史を記録した『小さな大学の大いに挑戦』という書籍があります。その中で次のように述べられています。「日本といふ国家によつて存続を否定されられていました。『日本といふことは、日本によつて切り離されたり統合されたりといふ

で、当時の佐久川政一学長の挨拶は、「権力に祝福されぬ入学式だが、心ある多くの人が入学したことはある意味驚きでもあります。彼らは、県内で一番古い私学という沖縄大学の歴史、多くの人材を輩出した実績そして私学の精神を守ろうとする姿勢に



最終的には、文部省(当時)の理解を得て、翌年あらためて設置認可を申請し、日本の学校教育法の定める大学となりました。沖縄大学は、苦難を乗り越え、今や小規模ですが、教育と地域貢献できらりと光る堂々たる大学に成長しました。例えば、数年前まで文部科学省が行っていたGP(Good Practice)－全国大学の模範となるすぐれた教育改革の取り組みーでは、7つのGPを獲得するという快挙をなしとげました。また、現在、文部科学省が行っている私立大学等改革総合支援事業では、県内で唯一対象校に採択されています。沖縄タイムス社の社会貢献賞を受賞しているのも沖縄大学だけです。

も長くこのようないい偏見を持つた世間の一人であつたとまことに恥ずかしいことです。そして、あらためて思うのは、人権を学ぶということでは、他人の痛みを自分の痛みとして感じる想像力を養うことだということです。

二人は、性的少數者が受け入れられる社会を創る活動を学内外で行つてきました。沖縄大学の教育と研究の理念を宣言した「沖縄大学憲章」があります。沖縄大学の憲法のようなものです。憲章はこう述べています。「現代の大学には、障がいのある学生を含め多様な学生が入ります。沖縄大学は学生の力に依拠しつつ大学の責任を果たし、多様な学生の学びと育ちを支援するユニーク・サルな大学づくりをめざします」。二人は、まさにそのような大学創りを行つたのです。

今年夏には参議院議員、沖縄県議会議員の選挙が行われます。18歳選挙権が認められる初めての選挙に、18歳あるいは19歳の当事者として投票する方が今年の入学生には多いことでしょう。日本政治史に記録される記念すべき1票行使するとき、沖

沖縄大学の歴史を思い起こし、沖縄の将来をそして日本の未来を選択して欲しい、また権利のための闘争を行つた二人に学び、弱者の痛みを自分の痛みとして、不正義の是正につながる投票をして欲しいと念願します。

ります。皆さんが意欲をもつて取り組めば大いに効果があり、かならずしや新しい世界が広がっていきます。4年後の卒業式、編入や大学院入学者の方は2年後あるいは3年後の卒業式の時に、我が大学生活に悔いはないと総括して卒業できるよう、充実した楽しい大学生活となることを祈念しております。大学は全力を挙げて皆様の教育にあたることをお約束して、学長式辞といたします。



在校生スピーチ

スピーチ・日本語原稿

福祉文化学科 4年（南風原高校卒）

スピーチ指導・ウチナーグチ翻訳

小橋川 共貴

非常勤講師 仲原 穎

（翻訳協力：国吉朝政氏）



い うまーりやびーん。

うぬ ジかのー、授業ぬ

すーみぬ ある サーク

ルンかい いやーに活

動さい、まるけーてー ど

うしおちやーとう まじゅ

ん あしだい、アルバイト

がたん あいびーん。

る あんしから、大学ううてい

みーくに しつちやる

しーじや くらし

わーが なま はなしそー

る うちなーぐちえー、にく

りまでい すーみん あい

びーたしが、あんまでー

びんちよー さびらんたん。

講義受きていいくめーき

ていい びんちよーさしえー

だいがくしーんかいな

ていいから やいびーん。

どうーぬ すーみぬ ある

くとー、どうーくる つし

ちふえー むつち びん

ちょーする とうちん ま

んどーいびーん。

大学ぬ 暮らしううてー
くりまでいぬ 高校じぶん
とう かわてい、どうーぬ
うきーぶさる 授業ぬ
あいねー てーげーや
うーくる つし ちわみてー、
時間割 組でーい いちゆる
くとー うん ないびーん
やいびーくとー、かつてい
ん、こーこーしー やか
うふくなてい ちゅーん
で

がくしーぐらしうてー
がくしーよー、うんじゅなー
どうーぬ しがつとー ちわ
がくしーぶさる くとーに
ういり うぬ つういーに
ういくでーい
びり。

がくしーよー、うんじゅなー
どうーぬ しがつとー ちわ
がくしーぶさる くとーに
ういり うぬ つういーに
ういくでーい
びり。

がくしーよー、うんじゅなー
どうーぬ しがつとー ちわ
がくしーぶさる くとーに
ういり うぬ つういーに
ういくでーい
びり。

がくしーよー、うんじゅなー
どうーぬ しがつとー ちわ
がくしーぶさる くとーに
ういり うぬ つういーに
ういくでーい
びり。

うららかな春から初夏の
気配も感じる季節となりま
した。本日は、このよう
な心より感謝申し上げます。
晴れやかな入学式を挙行し
ていただき誠にありがとうございます。新入生を代表
して心より感謝申し上げます。
私たち2016年度入学
生として、この歴史と伝統
のある沖縄大学に入学する
ことができました。私たち
は3ヶ年の高校生活を終え、
「沖縄大学」という新たなス
テージに進み、これから始
まる大学生活に大きな期待
と緊張を寄せてています。
今までとは違う環境の中
で新しいことに挑戦し、私
たちのそれぞれの大きな夢
に向かって、努力していき
たいと思います。

今日の日本は、少子高齢
化問題や東日本大震災の復
興作業など解決しなければ
ならない問題が数多くあり
ますが、そんな中、今年はオ
リンピックが開催され
年でもあり、自転車競技で
は県出身選手が日本代表に
選ばれるなど明るいニュース
もありました。

申し上げます。

最後に今日から沖縄大学
の学生という誇りと自覚を
持ち、学業はもちろん、サー
クル活動や学校行事など
何事にも積極的に取り組み、
新たな仲間と共に4年間の
大学生活を有意義に過ごす
ことをここに誓い、新入生
代表の挨拶とさせていただ

新入生代表挨拶

新入生代表 平良 花怜
国際コミュニケーション学科
(石川高校卒)



2016年度
冠奬学金証書授与式



冠奨学金制度は、学業の成就を支援し、未来の地域を担う人材を育てていくことを目的に2001年度に創設されました。今年度も後援会の協力の下、企業、個人、宮古・八重山地区有志会、同窓会支部有志の皆様からのご厚意を賜り、32名の学生に年間授業料の半額に相当する奨学金を寄付者のお名前を冠して給付することができます。

学金証書授与式では、嘉数昇明後援会会長よりご寄附を賜つた皆様に對して感謝の思いが述べられるとともに、奨学金を授与された学生を祝福し、今後の学生生活に期待を込めた激励の言葉が贈られました。

冠奨学生を代表して、法経学科4年次の前原友絵さんは挨拶の中で「就職活動をしていますが、次は私が誰かの支えとなる仕事に就きたいと考えています」と決意を述べました。



(s 法経学科、c 国際コミュニケーション学科、w 福祉文化学科、p こども文化学科)

2015(平成27)年度 決算について

資金収支計算書

(単位:千円)

支出の部 科 目	金 額	収入の部 科 目	金 額
人件費支出	1,200,283	学生生徒等納付金収入	1,595,574
教育研究経費支出	477,831	手数料収入	22,095
管理経費支出	80,497	寄付金収入	32,218
借入金等利息支出	14,132	補助金収入	306,192
借入金等返済支出	52,850	資産売却収入	117
施設関係支出	15,035	付随事業・収益事業収入	3,334
設備関係支出	107,042	受取利息・配当金収入	5,719
資産運用支出	45,427	雑収入	67,489
その他の支出	37,404	前受金収入	763,094
資金支出調整勘定	△86,782	その他の収入	34,218
次年度繰越支払資金	2,776,419	資金収入調整勘定	△846,142
支出の部 合計	4,720,142	前年度繰越支払資金	2,736,229
		収入の部 合計	4,720,142

資金収支計算書は、当該年度における学校法人の諸活動に対応する資金の使途(資金支出)とこれに対する資金の調達(資金収入)のすべてを明らかにしたもので、また、年度末における支払資金(現金及びいつでも引き出しができる預貯金)がいくらあるかも表します。

資金収入には、授業料等の学費や、入学検定料、寄付金、補助金等の収入や、前受金などのすべての収入を計上します。

資金支出には、教職員に支払う給与、教育や研究のための経費、消耗品や水道光熱費等の諸経費、土地、建物、図書、機器備品の購入費等のすべての支出を計上します。

今期の収支とすべきだが今期で資金の動きがないものは、調整勘定としてマイナス計上とします。たとえば、前期で納めた今期の学費は前期未受金として、資金収入調整勘定へ計上されます。また、今期の活動に対する支出だが、未だ払われていないものは期末未払金として、資金支出調整勘定にマイナス計上されます。

事業活動収支計算書

(単位:千円)

教育活動収支の部 科 目	金 額	事業活動の部 科 目	金 額
	特別収支		特別支出
学生生徒等納付金	1,595,574	その他の特別収入	10,524
手数料	22,095	特別収入計	10,524
寄付金	32,218	科 目	金 額
経常費等補助金	298,642	資産処分差額	3,530
付随事業収入	3,334	その他の特別支出	500
雑収入	67,321	特別支出計	4,030
教育活動収入計	2,019,185	特別収支差額	4,030
人件費	1,202,837	(予備費)	10,000
教育研究経費	637,938	基本金組入前當年度収支差額	91,604
管理経費	84,279	基本金組入額合計	△ 78,607
徴収不能額等	607	當年度収支差額	12,996
教育活動支出計	1,925,662	前年度繰越収支差額	△ 255,949
教育活動収支差額	93,523	翌年度繰越収支差額	△ 242,952
(参考)		参考	
事業活動収入計	2,035,429	事業活動支出計	1,943,825
事業活動外収支差額			
教育活動外収支差額			
収入の部 科 目	金 額	支 出 の 部 科 目	金 額
受取利息・配当金	5,719		
教育活動外収入計	5,719		
支 出 の 部 科 目	金 額		
借入金等利息	14,132		
教育活動外支出計	14,132		
教育活動外収支差額	△ 8,412		
経常収支差額	85,110		

事業活動収支計算書は、事業活動収入と事業活動支出の内容とその均衡を明らかにする目的で作成します。収支を経常的な収支、臨時の収支(特別収支)に分け、経常的な収支は更に、教育活動収支と教育活動外収支に分けて把握することができるようになります。資金収支計算書ではなく、事業活動収支計算書に表れる科目としては、減価償却額や退職給与引当金などがあります。

教育活動収支の「教育」には、研究を含むとされていますので、教育活動収支は学校法人の本業である教育と研究による収支を表します。

教育活動外収支は財務活動等による収支を表します。

特別収支のその他特別収入には施設設備補助金(7百万円)、現物寄付(2百万円)等が計上されています。

基本金組入れ前の当年度収支差額は9,100万円、基本金を控除した収支差額は1,200万円の黒字となり、その分だけ翌年度収支差額(累積の赤字)が改善されることになります。

貸借対照表

(単位:千円)

資産の部 科 目	金 額	負債・基本金・消費収支差額の部	
	固定資産	科 目	金 額
固定資産	5,068,721	固定負債	1,340,136
(1) 有形固定資産	4,498,768	流動負債	870,684
(2) 特定資産	379,469	負債の部合計	2,210,820
(3) その他の固定資産	190,484	第1号基本金	5,607,155
流動資産	2,838,300	第2号基本金	200,000
		第4号基本金	132,000
		基本金合計	5,939,155
		繰越収支差額	△ 242,952
		翌年度繰越収支差額	5,696,202
合 計	7,907,022	純資産の部合計	
		合 計	7,907,022

貸借対照表は、年度末における法人の財政状況を明らかにするために、法人の保有する資産、負債、基本金及び翌年度繰越消費収支差額を一覧表示したものです。本年度末の総資産は79億7百万円(以下、百万円以下切捨て)で、前年度末に比べて6千万円増加しています。一方、負債総額は22億1千万円で、前年度より2千7百万円減少しています。「負債」とは言ても、その大半は前受金(次年度授業料の前払金7億6千万円)と退職給与引当金4億7千8百万円など返済の必要のない負債です。一般的な意味での負債は、本館ビル建設及び長田第一駐車場購入時の私学事業団からの借入金の残、8億5千6百万円ですが、利子を含め毎年着実に返済(2015年度は6千6百万円)しています。

基本金について

学校法人は、設置する学校の教育研究やその他の諸活動を行うために、校地、校舎、機器備品、図書等の資産を保有しています。そして、これら保有資産のうち、教育研究に必要な資産は、教育水準の維持向上と円滑な法人運営を図る観点から、継続的に保持しなければならないことになっています。

このように、必要な資産の維持状況を表したもののが基本金です。

2016(平成28)年度 予算について

資金収支予算書

(単位:千円)

収 入 の 部 科 目	予 算	前 年 度 予 算	増・減
	学生生徒等納付金収入	1,579,773	1,629,207
手数料収入	22,262	22,040	222
寄付金収入	25,710	25,870	△ 160
補助金収入	297,810	306,527	△ 8,717
付隨事業・収益事業収入	3,157	2,804	353
受取利息・配当金収入	5,360	5,360	0
雑収入	13,054	61,202	△ 48,148
前受金収入	802,483	815,772	△ 13,289
その他の収入	154,213	28,928	125,285
資金収入調整勘定	△ 823,656	△ 893,013	69,357
前年度繰越支払資金	2,821,400	2,681,188	140,212
収入の部合計	4,901,566	4,685,885	215,681

人件費は、専任教職員や非常勤講師、非常勤職員の給与、各種手当、各々手当などです。

教育研究費とは、研究助成費やクラブ活動補助金、奨学費、光熱水費や消耗品まで、教育・研究活動に必要なすべての経費が含まれています。

支 出 の 部 科 目	予 算	前 年 度 予 算	増・減
	人件費支出	1,141,832	1,195,222
教育研究経費支出	518,728	473,050	45,678
管理経費支出	81,454	79,650	1,804
借入金等利息支出	13,287	14,132	△ 845
借入金等返済支出	52,850	52,850	0
施設関係支出	475,000	42,000	433,000
設備関係支出	180,225	168,938	11,287
資産運用支出	31,000	31,000	0
その他の支出	37,196	26,716	10,480
予備費	10,000	10,000	0
資金支出調整勘定	△ 119,209	△ 125,092	5,883
翌年度繰越支払資金	2,479,203	2,717,419	△ 238,216
支出の部合計	4,901,566	4,685,885	215,681

学生生徒等納付金とは、学生のみなさんが納める授業料、施設費、実習料などです。

手数料は、入試の受験料、各種証明書の発行手数料や大学入試センター試験手数料などが含まれます。

補助金収入はすべて国からの補助金です。

付隨事業・収益事業収入は、補助活動として行っている各種講座の受講料収入が含まれます。

前受金収入とは、入学金などを本来、翌会計年度に属する収入を当該年度において収納したものといいます。

期だからこそ沖縄大学の団結力を高めようと、7月28日、数年ぶりの五者会議開催となりました。少子化の影響で大学経営が厳しさを増す中、このような時意見交換を行うトップ会談です。評議員会議長の五者が一堂に会し、大学運営全般に渡り体である後援会の会長、同窓会五者会議は、学校法人のトップである理事長と、沖縄大学のトップである学長、大学関係団体である後援会の会長、同窓会五者会議を開催

た。
理事長、学長による大学の現況の報告、常務理事、事務局長から財務状況や学生数の推移、2年後（2018年6月10日）に迎える創立60周年等についての説明後、意見交換が行われました。特に60周年記念については、単なる記念イベントで終わらせるのではなく、学生食堂等の学生の為の施設設備の新設など、学生たちが喜ぶ事業を実施していくことを確認しました。五者会議は定例化し、今後も開催していく予定です。



2016年7月28日(木)於:沖縄大学

会長 嘉数昇明（元沖縄県副知事）、副会長 照屋正（りゅうぎん総合研究所常務取締役）、副会長 金城唯人（沖縄銀行融資統括部部長代理）

2016年度後援会役員の紹介

※面談開始時間
◎中部、那覇会場
18時30分

中部会場／9月13日（火）
ホテルコスタビスタ沖縄
那覇・南部会場／9月17日（土）
沖縄都ホテル

久米島会場／9月2日（金）
ホテル久米アイランド
北部会場／9月6日（火）
ホテルゆがふいんおきなわ
宮古島会場／9月8日（木）
ホテルアトールエマラルド宮古島
八重山会場／9月9日（金）
ホテル日航八重山

日程及び会場一覧

本年度の父母懇談会（教職員と父母の教育相談会）を左記の日程で開催いたします。
本学はご父母の皆様と連絡を密にしてきめ細かな学生支援を行っていくために、学業や学生生活等について教職員との個別面談会を開催しています。

開催について

2016年度 沖縄大学後援会 総会・懇親会

事業活動収支予算書			
(単位:千円)			
	科 目	本年度予算	前年度予算
教育活動収支の部	学生生徒等納付金	1,579,773	1,629,207
支出の部	手数料	22,262	22,040
寄付金	25,710	25,870	
経常費等補助金	290,718	298,977	
付随事業収入	3,157	2,804	
雑収入	13,054	61,202	
教育活動収入計	1,934,674	2,040,100	
人件費	1,151,244	1,201,400	
教育研究経費	678,080	614,243	
管理経費	83,726	84,038	
教育活動支出計	1,913,050	1,899,681	
教育活動収支差額	21,624	140,419	
教育活動外収支の部	科 目	本年度予算	前年度予算
支入の部	受取利息・配当金	5,360	5,360
支出の部	教育活動外収入計	5,360	5,360
借入金等利息	13,287	14,132	
教育活動外支出計	13,287	14,132	
教育活動外収支差額	△ 7,927	△ 8,772	
経常収支差額	13,697	131,647	
特別収支の部	科 目	本年度予算	前年度予算
支入の部	その他の特別収入	7,092	7,550
支出の部	特別収入計	7,092	7,550
特別収支差額	7,092	7,550	
【予備費】	10,000	10,000	
基本金組入前当年度収支差額	10,789	129,197	
基本金組入額合計	△ 485,085	△ 45,311	
当年度収支差額	△ 474,296	83,886	
前年度繰越収支差額	△ 172,063	△ 285,714	
翌年度繰越収支差額	△ 646,359	△ 201,828	
(参考)			
事業活動収入計	1,947,126	2,053,010	
事業活動支出計	1,936,337	1,923,813	

2016年度は、大学の本業である教育活動の収支差額がプラスの2千百万円、教育活動外の収支差額がマイナス7百万円、この合計である経常収支差額がプラスの1千3百万円となっています。つまり、本業による教育活動で得た収入で教育活動外の支出を補い、1千3百万の収入超過となるということです。

基本金組入前の当年度収支差額は1千万円の収入超過ですが、土地、建物の購入を予定していることから、基本組入額が4億8千5百万円と大きくなることから、当年度収支差額は4億7千4百万円の支出超過となっています。

当年度収支差額はここ数年、収入超過を続けています。2016年度の支出超過は、土地、建物の購入によるやむを得ないもので、2017年度以降の収支差額に大きな影響をあたえるものではありません。

2016年度事業計画、2016年度予算など、全ての審議事項についてご承認いただきました。総会資料については本学HPの後援会ページをご覧いただけます。

昨年度は、離島地区出身学生を支援する目的で設立された「宮古・八重山地区有志会奨学金」が初めて学生へ支給されました。募金活動には同窓会の多大な協力をいただき、6名の離島出身学生に同奨学金を支給することができました。今後とも様々な面から学生支援を展開いたします。

今年9月には県内6地区で行われる父母懇談会へ会長・副会長が出席し、会員の皆様と交流を深める予定です。また、新たな支部結成に向けた活動も行う予定で、ますますご父母と大学とのつながりが期待されます。

連絡先：学生支援課

☎ 098-832-7182

■2017年度 沖縄大学入試日程

		願書受付期間(締切日必着)	入試日	合格発表	入学手続期間(締切日必着)
AO入試	面接型: 8月	8月1日(月)～8月10日(水)	8月19日(金)～8月21日(日)	8月31日(水)	9月16日(金)～9月29日(木)
	講義型: 10月	9月26日(月)～10月6日(木)	10月15日(土)	10月21日(金)	11月7日(月)～11月17日(木)
	面接型: 12月	11月24日(木)～12月6日(火)	12月17日(土)～12月18日(日)	12月22日(木)	1月4日(水)～1月18日(水)
推薦入試		11月1日(火)～11月10日(木)	11月19日(土)～11月20日(日)	11月25日(金)	11月28日(月)～12月7日(水)
前期	一般入試(前期)	1月6日(金)～1月19日(木)	2月7日(火)～2月8日(水)	2月17日(金)	2月20日(月)～3月3日(金)
	センター試験利用入試(前期)	1月6日(金)～1月26日(木)	1月14日(土)～1月15日(日)		
中期	一般入試(中期)	2月6日(月)～2月22日(水)	3月3日(金)	3月10日(金)	3月13日(月)～3月17日(金)
	センター試験利用入試(中期)		1月14日(土)～1月15日(日)		
後期	一般入試(後期)	2月28日(火)～3月7日(火)	3月14日(火)	3月15日(水)	3月16日(木)～3月17日(金)
	センター試験利用入試(後期)		1月14日(土)～1月15日(日)		

■募集定員

入試種別 学科・専攻	AO入試 面接型 8月	AO入試 講義型 10月	推薦 入試	専門・総合 学科特別	AO入試 面接型 12月	前期		中期		後期		合計
						一般 (前期)	センター (前期)	一般 (中期)	センター (中期)	一般 (後期)	センター (後期)	
法経	40	22	65	11	18	24	28	9	7	3	3	230
国際	15	8	19	4	5	10	8	5	2	2	2	80
福祉文化(社会福祉専攻)	20		35	5	10	5	3	5	2			85
福祉文化(健康スポーツ福祉専攻)	10		20			5	3	5	2			45
こども文化			20			15	10		5			50
合計	85	30	159	20	33	59	52	24	18	5	5	490

学部・専攻による入試種別と定員を示す。各専攻の特徴や、入試方法について詳しくは、各専攻のHPをご覧ください。

沖縄大学大学院・現代沖縄研究科には、「地域経営専攻」と「沖縄・東アジア地域研究専攻」の2専攻があります。

大学院

送迎バス有、県外・離島参加者は受験料免除特典があります。

第3回オープンキャンパス

10月29日(土)午後1時

◎全ての入試で試験会場が本学会場のみとなりました。県外・離島からの受験生には推薦入試(11月試験)及び一般入試前期(2月試験)において、受験生上限)があります。

航空運賃等の補助制度(3万円)があります。

学部

中小企業家同友会と協定

③専修免許状取得制度／社会(中学生)／公民・地理歴史(高校)の一種	長期履修生(3年間)としての入學を認めます。
②長期履修制度／2年間の修業年限を超えて、計画的に教育課程を履修し修了することを希望する社会人等の志願者について、	①昼夜・土曜開講制／講義科目や演習は、原則として平日の6～7校時と土曜日の午後に開講されます。
①専修免許状取得制度／社会(中学生)／公民・地理歴史(高校)の一種	沖縄大学大学院・現代沖縄研究科には、「地域経営専攻」と「沖縄・東アジア地域研究専攻」の2専攻があります。
免許状保有者が本大学院を修了すると専修免許状が取得できます。	沖縄大学は創立5周年に際し、地域共創・未来共創の大学へと再定義しました。共創のパートナーは、市民であり、社会の諸団体であり、企業であり、自治体等です。
②長期履修制度／2年間の修業年限を超えて、計画的に教育課程を履修し修了することを希望する社会人等の志願者について、	那覇市とは2年前に包括協力協定を締結し、民生委員と学生とが共に学ぶ福祉コミュニケーションの開講、児童支援委員の研修である地域福祉マネジメントプログラムの開発、参議院選期日前投票の実施などをしてきました。
①昼夜・土曜開講制／講義科目や演習は、原則として平日の6～7校時と土曜日の午後に開講されます。	この度中小企業家同友会と協力協定を締結することができ大変喜んでおります。これまで、仲地博学長の挨拶の一部を紹介します。
免許状保有者が本大学院を修了すると専修免許状が取得できます。	沖縄大学は創立5周年に際し、地域共創・未来共創の大学へと再定義しました。共創のパートナーは、市民であり、社会の諸団体であり、企業であり、自治体等です。
②長期履修制度／2年間の修業年限を超えて、計画的に教育課程を履修し修了することを希望する社会人等の志願者について、	那覇市とは2年前に包括協力協定を締結し、民生委員と学生とが共に学ぶ福祉コミュニケーションの開講、児童支援委員の研修である地域福祉マネジメントプログラムの開発、参議院選期日前投票の実施などをしてきました。
①昼夜・土曜開講制／講義科目や演習は、原則として平日の6～7校時と土曜日の午後に開講されます。	この度中小企業家同友会と協力協定を締結することができ大変喜んでおります。これまで、仲地博学長の挨拶の一部を紹介します。
免許状保有者が本大学院を修了すると専修免許状が取得できます。	沖縄大学は創立5周年に際し、地域共創・未来共創の大学へと再定義しました。共創のパートナーは、市民であり、社会の諸団体であり、企業であり、自治体等です。

編集後記

沖大から歩いて15分の珊瑚舎スコア。その夜間中学卒業生のお三方が、こども文化学会設立記念講演に登壇して下さいました。この広報誌には到底収まらない「学びの場」が出現したように思います。夜間中学生の書き込みが、昨年出版された『まちかんてい』に収められています。(後藤)

お問い合わせ先

入試広報室(電話 098-832-3270)



2017年度・学生募集
沖縄大学
OKINAWA UNIVERSITY

